

世帯と人口
(平成7年2月1日)
世帯 39,507 (+48)
人口 112,751人 (+46)
男58,266人 女54,485人

広報えひな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31-2111

この広報は再生紙を使用しています。

4世代のひな祭り



▲写真左から、恵李さん、キヌエさん、薰さん、輝子さん、里美さんと美季さん
の6人勢ぞろい。

現在では、普段からいろいろな食べ物や遊びがあつて「ひな祭り」が特別な日ではなくなつてしまつたようですが、今でもお餅をついて3日には「ちらし」を食べているそうです。そして、ひな人形を見ているだけで楽しかつたものですね」と当時を語っています。昔のひな飾りは、3段位で最上段が御殿のようになつていて天井にとどく程だったそうです。

二三事
ひな祭りの起源
は、平安時代に貴族の子女の間で行われていた小さな紙人形でまことに遊びをす

る「ひな遊び」だといわれています。また、供える餅は、女性の幸せを象徴する幸菱(さいわいびし)という文様にあります。

キヌエさんが子供の頃は、「3月3・4日の2日間学校が休みでした。3日には「お赤飯」を、4日には「ちらし」を食べて、なにより着物が着られるのがうれしくてたまらなかつたです。そして、ひな人形を見ているだけで楽しかつたものです」と当時を語っています。また、鶴志田家では、4世代の「お姫様」でぎやかなひな祭りになるでしょう。

お赤飯ちらし3段飾り



ひな飾りの前に勢ぞろい

「ひ孫の嫁入りが遅れないように」と今年も2月11日に、ひな人形の飾り付けが無事完了しました。さっそく、ひな飾りの前では、4世代6人が勢ぞろいして、昔懐かしい遊びが始まりました。



▲石臼挽きを体験

2月9日、大谷小学校で、2年生がそばを石臼（いしうす）で、実際に自分たちの手で挽いて、市そば商組合員による、そば打ちを見学する“体験学習”が行われた。



フォトピックス



▲真剣な“まなざし”で打ち込む

2月17日、市総合福祉会館で市老人クラブ連合会主催の将棋大会が行われた。大会は勝ち抜き戦で行われ、16人の参加者は、熱気が伝わってくるほどの真剣勝負。「王手」「飛車取り」などの声が響いていた。



► 柏ヶ谷自治会館が10周年

2月6日 人権問題講演会が市役所会議室で173人を集められた。当日は、講師に阿部志郎氏を迎え「家族と人々」と題した講演と、「どちらじの詩」の映画上映が行われた。

9町内会、964世帯と開館当時に比べ2倍以上に増大した柏ヶ谷地区。地域の交流の拠点として自治会館の利用も多くの10周年を記念して、各世帯に記念タオルが配られた。

に下方方に「国分寺住」一法印ある。これはその十月十二日、江戸相模國大地震、鎌倉八幡宮の鳥居倒れ民衆多く傾覆す」との記録が残っている。大地震に、寺でも石垣が崩れた。そこでこの石垣を修復し、併せて有無両縁の亡くなった人々の菩提を弔うという供養塔なのである。

このころの国分寺の規模は、石段を登った正面突き当たりに藥師堂があり、その北方に庫裡、右前方に鎌倉時代の武将國分三郎頼朝が寄進した梵鐘を掛けた鐘楼、これ

崩壊したのである。隆意は、寺の体面によつてかわるので大方の寄進によつて早速修理したのに違ひない。

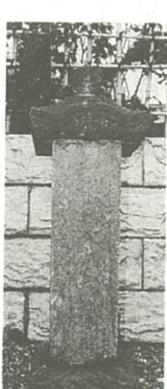
隆意のもう一つの業績は、尼の泣き水の供養のため石仏を建立したことである。新編相模國風土記稿の「国分村 婦泣水」の項

「今少許の水沢なり、国分寺の東南三町を隔つ傍三杉樹立せり、相伝ふ古吉蟹ありて業事の妨となるを以尼寺伽藍に放火する、依て此名有て死に処せらる、と云、或い云尼寺の尼恨事有て放火すとも云、此所除地にて国分寺に属す」

人は尼が罪をわびて流して
る泣だとそのわき水を尼の
き水と呼んだこと、巡礼した
とき朝日さし夕べかがやく
分寺、いつまでもえさぬみの
き水、と御詠歌をうたい鈴
ふつて尼の冥福を祈るよう
なったこと、さつとこのよ
に私たちがよく聞かされた
と同じように、まとめてある
隆意は、この過ちを悔い改
めた尼僧を哀れみその菩提
から舟形光背付如意觀音像
像を建立したのである。こ
尼の泣き水は、昭和四十一
ころ開発のため、その痕
を止めず観音像のみは点々た

海老名むかしむかし
33・3838

如意輪觀音坐像



▲南無大師遍照
金剛塔

國分寺墓地内にある歴代住職の墓誌によると、隆意の入寂は、貞享二年（一六八五年）五月三日である。先住は、貞享二年（一六八五年）に没し後任住職は、享保四年に亡くなっているから、その在任期間は大変永く、長命でもあったようである。

隆意が残した足跡は、以上二事業のほか現存する由もないが、国分寺の開山に当たつては大寺の名に恥ないよう、積極的に事を推進した高徳の僧に思えてならないのである。

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
 2月23日～3月14日 第167話 大塚っ原の雪太郎
 3月15日～4月3日 第168話 狐のおしけけ女房

(池田 武治)

とある。この話は、県文化財保護課編のむかしばなしにも居所を替えたが、今は国分寺の境内に移されている。これ

とある。この話は、県文化財保護課編のむかしばなしにも採録されている。そのあら筋は、平十三年、相模國に分天平十三年、相模國に分寺がつくられた（から治まつ居所を替えたが、今は国分寺の境内に移されている。これが古いものも、移動されたかつての古い鐘閣の中に雨露をしのぎ安住しておられる。現音楽は頭を古に頃す。古

986